

# 防災・減災部門

## 現場へ翔んで、クラウドでシェア！ 埼玉型下水道BCP訓練の実施

埼玉県

埼玉県では、現場の災害情報をより迅速に組織内に伝達・共有することを目的に、平成30年度に、クラウド上にデジタル管路図を整備し、タブレット端末を活用した下水道BCP訓練を実施しました。

### 埼玉型下水道BCP訓練

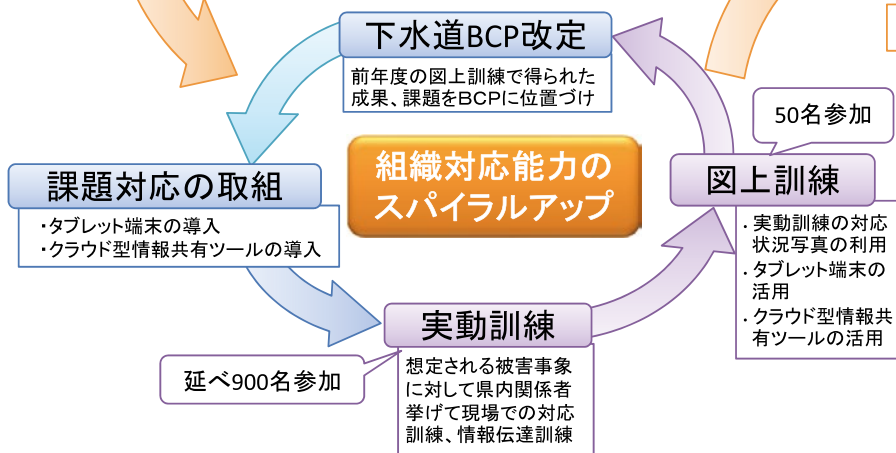
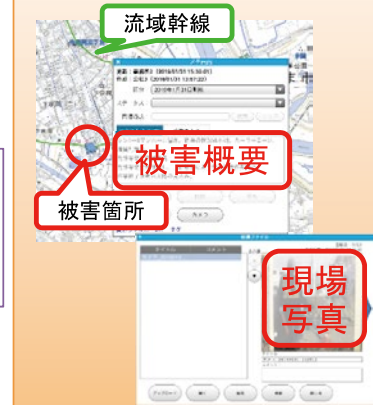


### これまでの訓練

電話、紙による  
情報伝達



### タブレット端末の画面



### PRポイント!

クラウドサービスのどこでも利用できる利便性とタブレット端末の持ち運びしやすさの両方を活かしました。

流域下水道幹線の位置情報や施設基本情報を集約したデジタル管路図をクラウド上に立ち上げ、現場に向かう職員がタブレット端末を持参できるようにしました。タブレット端末で状況を撮影するだけで、速やかに現場情報を共有できるようになりました。

### 取組の効果!

下水道BCPに基づき、訓練参加者が被害情報を知らない状況で様々な判断を求められるブラインド方式ロールプレイング型図上訓練を実施しています。タブレット端末を活用することで、被災写真がリアルタイムで共有され、現場の状況が伝わるようになりました。結果、従来の情報伝達中心の訓練よりも、状況判断に主眼を置いた、臨場感のある訓練とすることができました。

### Key Person



下水道局下水道事業課  
主査 持木 克之

タブレット端末による情報共有では、詳細な施設情報、被害情報を把握できるようにしつつも、より簡易な操作で共有できるようにすることが課題でした。カメラで写真を撮る作業だけで情報共有ができることがクラウドサービス導入の決め手となりました。

今年度当初の漏水事故の際には、関係職員がタブレット端末を手に現場に集まり、被害状況や対応状況をタブレット端末で撮影して共有したことで、迅速な対応につながりました。

情報共有が迅速になったことで新たな課題も見つかりました。さらに改良を進め、災害対応のレベルアップを図っていきます。